



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月6日

上場会社名 グローリー株式会社 上場取引所 東
コード番号 6457 URL <https://www.glory.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原田 明浩
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理・財務本部長 (氏名) 藤川 幸博 TEL 079-297-3131
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無： 有
決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	92,775	33.1	10,557	154.4	9,284	115.0	5,743	186.4
2024年3月期第1四半期	69,680	31.5	4,150	—	4,318	—	2,005	—

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 12,324百万円 (0.8%) 2024年3月期第1四半期 12,229百万円 (40.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	103.14	—
2024年3月期第1四半期	36.07	—

(参考) EBITDA (営業利益+減価償却費+のれん償却額)

2025年3月期第1四半期 16,589百万円 (85.9%) 2024年3月期第1四半期 8,922百万円 (149.4%)

のれん償却前四半期純利益 (親会社株主に帰属する四半期純利益+のれん償却額)

2025年3月期第1四半期 8,204百万円 (121.8%) 2024年3月期第1四半期 3,699百万円 (—%)

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	468,498	236,490	50.3	4,226.17
2024年3月期	467,072	228,746	48.8	4,097.32

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 235,886百万円 2024年3月期 227,875百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	40.00	—	66.00	106.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	54.00	—	54.00	108.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期（累計）	180,000	14.0	16,500	△1.6	14,500	△5.8	8,000	△3.7	143.66
通期	346,000	△7.1	26,500	△48.3	22,500	△53.5	11,500	△61.2	206.52

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2024年8月6日）公表いたしました「2025年3月期 第2四半期累計期間の連結業績予想及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

（参考）EBITDA	2025年3月期第2四半期	27,500百万円	2025年3月期（通期）	48,600百万円
のれん償却前営業利益	2025年3月期第2四半期	20,900百万円	2025年3月期（通期）	35,300百万円
のれん償却前当期純利益	2025年3月期第2四半期	12,400百万円	2025年3月期（通期）	20,300百万円

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 一社（社名）一、除外 6社（社名）グローリーAZシステム株式会社
グローリーメカトロニクス株式会社
Revolution Retail Systems, LLC他2社
Acrelec Holding Middle East Ltd

（注）詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更）」をご覧ください。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（注）詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更に関する注記）」をご覧ください。

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	58,938,210株	2024年3月期	58,938,210株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	2,873,306株	2024年3月期	2,873,306株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	55,685,854株	2024年3月期1Q	55,598,690株

（注）期末自己株式には、上記のほか、「役員報酬BIP信託口」及び「株式付与ESOP信託口」が所有する当社株式があります（2025年3月期第1四半期 249,178株、2024年3月期 449,012株）。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、不安定な国際情勢や欧米における高い金利水準の継続に伴う影響が懸念される状況下でも、持直しの動きが見られました。日本経済においては、円安や物価上昇が継続いたしましたが、景気は総じて回復基調となりました。当社グループを取り巻く事業環境は、国内で2024年7月3日に20年ぶりとなる新紙幣が発行され、製品更新や改造作業への需要が継続いたしました。また、国内外で人件費高騰や労働力不足が顕著であり、省人化や業務効率化への対応として、当社グループのセルフ型製品への需要は堅調に推移いたしました。

こうした状況のなか、当社グループは、2024年4月からの3ヶ年を計画期間とする『2026中期経営計画』をスタートし、「世界最高水準の製品群とソフトウェアプラットフォームを融合し店舗DXをサポートする企業」を目指し事業に取り組んでまいりました。

海外市場につきましては、金融市場及びリテール市場ともに、省人化や業務効率化ニーズに対応した製品・サービスへの需要が継続し、販売が増加いたしました。飲食市場においても、セルフサービスキオスクをはじめとしたAcrelecグループの販売が好調でした。加えて、2024年1月に買収したFloodidグループの売上も堅調に推移いたしました。一方で、米州におけるシステム統合や保守事業の内製化作業の遅れにより、人件費や外部委託手数料などのコストが増加いたしました。

国内市場につきましては、全ての市場において、製品・サービスの需要は堅調に推移いたしました。金融市場では、主要製品の販売が好調でした。流通・交通市場では、新紙幣への対応に伴う製品の更新や改造作業が継続し、製品売上高、保守売上高ともに増加いたしました。遊技市場では、遊技機向けカードシステムの販売は前年同期比では減少したものの、依然として高水準を維持いたしました。また、周辺機器の販売が好調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、92,775百万円（前年同期比 33.1%増）となりました。このうち、製品及び商品売上高は、57,386百万円（前年同期比 39.6%増）、保守売上高は、35,388百万円（前年同期比 23.9%増）でありました。利益につきましては、営業利益は、10,557百万円（前年同期比 154.4%増）、経常利益は、9,284百万円（前年同期比 115.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、5,743百万円（前年同期比 186.4%増）となりました。

セグメント別にみますと、次のとおりであります。

(金融市場)

主要製品である「オープン出納システム」及び窓口用「紙幣硬貨入出金機」の販売は、好調でありました。

この結果、当セグメントの売上高は、12,788百万円（前年同期比 34.8%増）、営業利益は、2,825百万円（前年同期比 127.1%増）となりました。

(流通・交通市場)

主要製品である「レジつり銭機」及び「券売機」や警備輸送会社向け「売上金入金機」の販売は、好調でありました。加えて、新紙幣発行に伴う改造作業により保守売上高も増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、23,987百万円（前年同期比 78.8%増）、営業利益は、6,487百万円（前年同期比 747.6%増）となりました。

(遊技市場)

主要製品である「カードシステム」の販売は減少したものの、高水準を維持いたしました。また、周辺機器である「両替機」の販売は好調でありました。加えて、新紙幣発行に伴う改造作業により保守売上高も増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、8,598百万円（前年同期比 27.2%増）、営業利益は、3,097百万円（前年同期比 49.0%増）となりました。

(海外市場)

米州では、主要製品である金融市場向け「紙幣入出金機<GLRシリーズ>」及びリテール市場向け「紙幣硬貨入出金機<CI-Xシリーズ>」の販売は、前年同期並みでありました。売上高は、19,947百万円（前年同期比 8.5%増）となりました。

欧州では、主要製品である金融市場向け「紙幣入出金機<GLRシリーズ>」及びリテール市場向け「紙幣硬貨入出金機<CI-Xシリーズ>」の販売は、好調でありました。売上高は、21,797百万円（前年同期比 23.0%増）となりました。

アジアでは、リテール市場向け「紙幣硬貨入出金機<CI-Xシリーズ>」の販売は好調であり、売上高は、

3,473百万円（前年同期比 20.9%増）となりました。

また、Acrelecグループの売上高は、7,392百万円（前年同期比 40.6%増）でありました。Floodidグループの売上高は、2,347百万円でありました。

この結果、当セグメントの売上高は、45,760百万円（前年同期比 17.4%増）、営業損益は、米州における人件費や外部委託手数料などのコスト増により、1,724百万円の損失（前年同期は 240百万円の利益）となりました。

その他の事業セグメントにつきましては、売上高は、1,638百万円（前年同期比 56.7%増）、営業損益は、128百万円の損失（前年同期は 178百万円の損失）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は、次のとおりであります。

総資産は、前連結会計年度末に比べ1,425百万円増加し、468,498百万円となりました。主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産3,330百万円の減少、及び、棚卸資産4,125百万円の増加であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ6,318百万円減少し、232,007百万円となりました。主な要因は、社債14,200百万円の増加、及び、賞与引当金10,459百万円、未払法人税等7,523百万円、短期借入金7,467百万円の減少であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ7,744百万円増加し、236,490百万円となりました。主な要因は、為替換算調整勘定6,861百万円、利益剰余金1,002百万円の増加であります。

この結果、自己資本比率は50.3%（前連結会計年度末は48.8%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

国内市場において、2024年7月3日に発行された新紙幣への対応に伴う更新需要や改造作業の実施件数が想定より増加する見通しとなりました。また、流通・交通市場においては、省人化や業務効率化を目的としたセルフ型製品・サービスへの堅調な需要の継続が見込まれるため、第2四半期累計期間の連結業績予想及び通期の連結業績予想を上方修正いたしました。

なお、業績見通しの前提となる為替レートにつきましては、1米ドル140円、1ユーロ150円を据え置いております。

詳細につきましては、2024年8月6日公表の「2025年3月期 第2四半期累計期間の連結業績予想及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,224	28,560
受取手形、売掛金及び契約資産	86,206	82,876
電子記録債権	3,849	3,966
商品及び製品	59,355	61,898
仕掛品	14,264	12,602
原材料及び貯蔵品	37,448	40,692
その他	8,958	9,083
貸倒引当金	△1,859	△1,877
流動資産合計	243,447	237,803
固定資産		
有形固定資産	46,182	47,073
無形固定資産		
顧客関係資産	26,838	27,527
のれん	84,171	86,851
その他	8,063	7,907
無形固定資産合計	119,073	122,286
投資その他の資産		
投資有価証券	14,570	14,824
その他	45,900	48,611
貸倒引当金	△2,101	△2,101
投資その他の資産合計	58,369	61,335
固定資産合計	223,625	230,695
資産合計	467,072	468,498
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,678	16,003
電子記録債務	9,862	8,871
短期借入金	38,286	30,818
1年内返済予定の長期借入金	5,672	4,495
未払法人税等	11,011	3,487
賞与引当金	14,922	4,462
役員賞与引当金	186	42
株式付与引当金	464	90
その他	62,998	67,749
流動負債合計	161,083	136,022
固定負債		
社債	10,000	24,200
長期借入金	37,040	40,243
株式付与引当金	315	262
退職給付に係る負債	1,820	1,955
その他	28,066	29,325
固定負債合計	77,243	95,985
負債合計	238,326	232,007

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,892	12,892
利益剰余金	167,088	168,091
自己株式	△8,097	△7,583
株主資本合計	171,884	173,400
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,758	2,922
為替換算調整勘定	41,062	47,924
退職給付に係る調整累計額	12,170	11,639
その他の包括利益累計額合計	55,991	62,486
非支配株主持分	870	603
純資産合計	228,746	236,490
負債純資産合計	467,072	468,498

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	69,680	92,775
売上原価	39,999	52,689
売上総利益	29,681	40,086
販売費及び一般管理費	25,530	29,528
営業利益	4,150	10,557
営業外収益		
受取利息	54	34
受取配当金	114	111
持分法による投資利益	—	39
為替差益	514	—
その他	146	184
営業外収益合計	829	369
営業外費用		
支払利息	384	689
持分法による投資損失	237	—
為替差損	—	812
その他	39	140
営業外費用合計	661	1,642
経常利益	4,318	9,284
特別利益		
固定資産売却益	6	12
関係会社株式売却益	103	—
特別利益合計	109	12
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	4	9
投資有価証券売却損	3	—
事業整理損	—	657
特別損失合計	8	667
税金等調整前四半期純利益	4,420	8,629
法人税等	2,205	2,847
四半期純利益	2,214	5,782
非支配株主に帰属する四半期純利益	209	38
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,005	5,743

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	2,214	5,782
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	347	164
為替換算調整勘定	9,857	6,909
退職給付に係る調整額	△198	△530
持分法適用会社に対する持分相当額	8	—
その他の包括利益合計	10,014	6,542
四半期包括利益	12,229	12,324
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,637	12,238
非支配株主に係る四半期包括利益	591	86

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)

(連結の範囲の重要な変更)

当第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であったグローリーAZシステム株式会社及びグローリーメカトロニクス株式会社は、当社の連結子会社であるグローリーシステムクリエイト株式会社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。なお、存続会社であるグローリーシステムクリエイト株式会社は、合併後にグローリーテクニカルソリューションズ株式会社に商号変更しております。また、当社の米国連結子会社であったRevolution Retail Systems, LLC及びその子会社2社は、当社の米国連結子会社であるGlory Global Solutions Inc. を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

当第1四半期連結会計期間において、Acrelec Holding Middle East Ltdは清算したため、連結の範囲から除外しております。

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうち決算日が12月31日であったAcrelec Group S.A.S. 他24社は、同日現在の財務諸表を利用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について必要な調整を行っていましたが、連結財務諸表のより適正な開示を図るため、当第1四半期連結会計期間より、決算日を3月31日に変更しております。

この決算期変更に伴い、2024年1月1日から2024年3月31日までの損益は利益剰余金の増減として調整しております。

(会計方針の変更に関する注記)

('法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準'等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融市場	流通・交通 市場	遊技市場	海外市場	計				
売上高									
外部顧客への売上高	9,487	13,414	6,759	38,974	68,635	1,045	69,680	—	69,680
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	9,487	13,414	6,759	38,974	68,635	1,045	69,680	—	69,680
セグメント損益	1,243	765	2,078	240	4,328	△178	4,150	—	4,150

(注) 1. 「その他」の区分は、上記の報告セグメントに属さない製品及び商品であります。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融市場	流通・交通 市場	遊技市場	海外市場	計				
売上高									
外部顧客への売上高	12,788	23,987	8,598	45,760	91,136	1,638	92,775	—	92,775
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	12,788	23,987	8,598	45,760	91,136	1,638	92,775	—	92,775
セグメント損益	2,825	6,487	3,097	△1,724	10,686	△128	10,557	—	10,557

(注) 1. 「その他」の区分は、上記の報告セグメントに属さない製品及び商品であります。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産及び長期前払費用に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	3,078百万円	3,571百万円
のれんの償却額	1,693百万円	2,461百万円